

福岡空港の総合的な調査に係る  
**PI活動(ステップ3)の実施状況レポート**

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 石田 東生
-------------	------------------------

日時・場所	<p>日時：平成19年10月31日 14時～16時</p> <p>場所：福岡県吉塚合同庁舎</p>
PI活動の種類	公開懇話会
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公開懇話会では、非常に活発に、また多岐に渡る議論がなされ有意義であった。</li> <li>・ 出席者17名のうち、14名は第1回にも出席されていた。週日の午後という出席しにくい時間帯にもかかわらず、議論に参加していただいている皆さんの努力には感謝を表明したい。</li> <li>・ また、1回あたりの発言もルール通りに短く、発言は簡潔で分かりやすかった。これに関しても高く評価できる。またこの背景にはファシリテータの適切な司会があったことも記憶すべきである。</li> <li>・ この公開懇話会は、誰にでも傍聴可能な公開の場で、関心と立場の異なる人々が、心配・懸念・関心を互いに表明し、色々な考え方が存在することを相互了解することを目的とするものであると考える。この視点からすれば、公開懇話会は目的を達しつつあると思われる。</li> <li>・ しかし、少し残念な点があったことも事実である。これは、一部の発言の中に、根拠や理由を示さずにポジション(反対である、信用できない)の表明が含まれていたことである。時間制約がある中での発言であり、言いたいことをかなり省略せざるを得なかった結果であると思われるが、認識や懸念の共有のためには、立場にこだわるだけではなく、実質の心配・不安・関心についての意見交換が重要であろう。</li> <li>・ 第3回は連絡調整会議に向けての公開懇話会の意見のとりまとめを行うとのことであるが、意見の集約ではなく、表明された意見を、例えば、関心領域毎、これまでの検討事項毎に整理するだけで十分であろう。</li> <li>・ ステップ4においても、公開懇話会方式は有効であると思われる。この経験と成果をステップ4においても活用すべきであろう。</li> </ul>